

実践報告(Report)

## 保育者・教師養成課程で学ぶ学生の「将来の職業に役立つ 学びの促進」を目指した授業の試みについて(2)

——「手書き A3 課題」は遠隔授業においても有意義たりえるか——

**An attempt in class to enhance learning for the future career  
of the students in the training course of nursery and  
elementary school teacher (2): Is the “handmade A3 task”  
able to be useful in remote style of class?**

服部 次郎\*  
HATTORI, Jiro\*

キーワード：将来の職業に役立つ学びの促進，手書き A3 課題，遠隔授業

Key words : Enhancing learning for the future career, Handmade A3task, Remote style of class

### 1. 研究の背景と目的

2020年度前期の授業は，新型コロナウイルスの影響もあり遠隔授業という形で実施することとなった。筆者自身にとっては，初めての体験となるオンライン授業であったが，大学から提供された Google Classroom というオンラインシステムを活用し，15回分の授業を終了した。

このような状況の中でも，どういう手段で授業を進めるかばかりでなく，どのような内容を，どのような方法で教えるかも重要と感じた。この点で，国際教養大学の鈴木典比古学長が新聞紙上で述べている記述が興味深く思われたので引用する。「我が国では1991年の大学設置基準の大綱化以降，教養教育は弱体化し早い年次からの専門教育重視にシフトした。しかし，グローバリゼーションの進展により，表面化してきた（中略）資源争奪，気候変動，難民といった問題は1分野の専門的知見だけでは解決できない。多角的・多元的な分析を伴う学際的研究と，それを踏まえた学問の課題解決への応用性がますます問われる。そうした状況で今日，教養教育の重要性が改めて認識され始めているのである。」（日本経済新聞2020年9月7日朝刊）というものである。

筆者が長年実施してきた A3 課題についての研究でも，教養教育か専門教育かは別として，上記にある「多角的・多元的な分析」や「課題解決への応用性」などは教育上のキーワードと思われ，A3 課題もその点で何か寄与できるのではと考える。具体的には，例えば学生の感想のひとつに，「（特別支援教育 I で学んだ）事例を手書き A3 用紙にまとめることにより，各回の光君や母親，周りの人々の心情やキーワードを登場人物の発言や表情・態度・場面などといった様々な視点から考え捉えることができた。……今私がこのように障害について勉強できているのは，学びきっかけを与

えてくれた特別支援教育Ⅰの講義のおかげである。」というものがあつた。この中にある「様々な視点から考え捉えることができた」ことは、A3課題においてA3用紙という白紙の表裏を、書き方の指示は最小限で、自分の好むように課題をまとめられるという選択可能な自由度の高い方法が役立っているとも考えられる。

オンライン授業という形態ではあつたが特別支援教育Ⅰにおいて学生たちに簡単なアンケートをすることでA3課題は遠隔授業においても有意義たりえるかを検討することとした。今回は、遠隔授業という状況でもあつたため、次の2点の仮説を設定し検証していく。

1. A3課題に取り組み、まとめることは、「自分の将来の職業」に役に立つ
2. A3課題作成の際に、パソコン等の機器ではなく、「手書きで課題を作成すること」は「自分自身の学び」において効果があつた

## 2. 研究の方法

アンケート用紙は特別に作成することはせず、手書きA3課題の中に下記のような簡単な設問等を組み入れ、筆者の授業「特別支援教育Ⅰ」（3年生前期科目：選択科目）を受講する保初・初中専修3・4年生の61名を対象に実施し、仮説の妥当性を検討した。設問については、5つの選択肢を設け、5段階評価を採用し、選択肢5には5点、4には4点、3には3点、2には2点、1には1点を付与した。

A3課題（「光とともに」のDVD教材利用）についての設問内容は、以下の通りである。

設問1 事例（光とともに）を「手書きA3課題」としてまとめるという方法（個人のまとめ、グループ内討論なども含め）についてはどのように感じたか（自由記述）

設問2(1)今回実施したA3用紙により課題に取り組み、まとめることは、自分の将来の職業に役立つと思いますか（5とても役立つ、4ある程度役立つ、3どちらとも言えない、2あまり役立たない、1全く役立たない）（番号に○をつける）

(2)将来希望する職業（1教員、2その他、3未定）

- \*1 授業の課題であるため、課題に氏名が記名されている
- \*2 研究用に使用するため、個人の名前は出さないが困るという場合は申し出ると、と事前に学生に案内したが、その申し出はなかった

## 3. 結果

対象者は、2020年度保初・初中専修3・4年生の特別支援教育Ⅰ受講者61名、有効

回答者数は60名である。

設問2(1) 今回実施したA3用紙により課題に取り組み、まとめることは、自分の将来の職業に役に立つと思いますか。(％の数値は、小数点以下四捨五入)

5 とても 役に立つ	4 ある程度 役に立つ	3 どちらとも いえない	2 あまり 役に立たない	1 全く 役に立たない
36名 (60%)	23名 (38%)	1名 (2%)	0名 (0%)	0名 (0%)

A3課題が「役に立つ」とする学生が98%いる一方で、「役に立つ」とは考えていない学生は2%存在した。5段階評価で、平均値は4.6であった。

設問2(2) 将来希望する職業(1 教員, 2 その他, 3 未定)と評価の状況

1 教員 (幼稚園教諭を含む)			2 その他			3 未定		
41名			15名			4名		
(68%)			(25%)			(7%)		
評価5	4	3	5	4	3	5	4	3
26名 (63%)	15名 (37%)	0名 (0%)	9名 (60%)	5名 (33%)	1名 (7%)	1名 (25%)	3名 (75%)	0名 (0%)

設問1の自由記述の主なものについては、下記に記述する。

- (1) 事例を手書きA3課題としてまとめる方法は、教材を深く理解する事ができる為、良いと感じました。課題に取り組む前は、A3の両面に書くのは大変そうだと思っていましたが(中略)手書きだった点も良かったと思います。パソコンで文字を打つと、どうしてもイラストを描くことが出来なくて、自分のイメージ通りにうまく表現することができません。その点、手書きならば自分のイメージ通りに表現する事ができるので、わかりやすくまとめる事ができました。また、大学生になってから、手書きで何かをまとめるという事をしていなかった為、とても新鮮な感じがして楽しみながら課題に取り組む事ができました。
- (8) A3用紙でまとめるということで大きくスペースもあり、様々なことを書くことが出来たので良かったです。そしてまとめ方を工夫したり、イラストを使ったりすることで私は楽しく課題に取り組むことが出来ました。授業の最後にA3課題をやることによって今までの授業の復習も出来たので良いと思います。またオンライン授業になったことでパソコンを使って課題をやる事が多くなり、パソコンは予測変換で漢字が正しく表示されますが、紙に書く時には漢字を間違えないように気をつけて書かなければならないと気付くことが出来ました。小学校の教員は字の丁寧さも求められると思うので、課題から丁寧に綺麗に字を書くこと心がけなくてはならないと感じました。私が小学校の教員になった時には今回学んだことを活かし

て、子ども達にとって分かりやすい授業が出来るようにこれからも障害について深く学んでいきたいです。

- (9) オンライン授業だったので、「手書き A3課題」自体は今までの学びや過程を文字にして、形にすることは、楽しくもあり、自分の知識や考え方が成長できたと思います……

A3にまとめることは、最初大変かな、思いましたが、思いがあふれて、かきたいことを自分で整理しながら書こうと意識できたのでたのしかったです。

- (13) 私は、A3課題のようにまとめるという方法は、とても良い学習方法だと思った。そのように思った理由は、2つある。1つ目は、深い学びにつながったからである。私は、このビデオを通して、自閉症や自閉症の子どもを持つ親、周りの人々について学ぶことができたと思っていたが、最後にもう一度振り返り、考えてみたり、まとめたりすることによって学んだことを定着させることができ、とても良い機会だと思った。2つ目は、将来の自分のためになると思ったからである。私は、将来教員を希望しているが、今回のような課題を行い、学んだことや理解したことを自分でまとめることの必要さや、グループ討論から得たことを自分の中で整理することの大切さに気づくことができた。そのため、将来教員になったとき、社会見学の後や道徳で学んだことなどについて、このようにまとめる機会を設けたいと思った。

- (17) 私は、今回初めて A3課題に取り組みました。両面で書く内容なので、とても多く、まとめるのにとても苦戦しました。自分の言葉でまとめるのは、人に何か説明する時や説明を聞いて理解する時多くの場面で必要になると思うので将来的にとっても役立つと思います。まとめるのは脳内の整理につながるのでまとめる能力は大切だと思います。

- (20) 事例を手書き A3用紙にまとめることにより、各回の光君や母親、周りの人々の心情やキーワードを登場人物の発言や表情・態度・場面などといった様々な視点から考え捉えることができた。……今私がこのように障害について勉強できているのは、学ぶきっかけを与えてくれた特別支援教育 I の講義のおかげである。

などといったものである。

## 4. 考察

仮説 1 の「A3課題に取り組み、まとめることは、『自分の将来の職業』に役に立つ」については、98%の学生が役に立つとしており、平均値も4.6あり、支持されたと考える。昨年度は、保初専修2年生の社会的養護（必修科目）受講者81名（回答のあったものは78名）に対して同様の質問をしたところ、89%の学生が役に立つとし平均値も4.1であった（服部，2019）ため、専修や学年の枠を超えて、一定の支持があるものと考えられる。

設問2(2)については、統計的な分析はしないが、「将来希望する職業」の種類にかかわらず、役に立つと考える学生が多いと推測される。

仮説2の「A3課題作成の際に、パソコン等の機器ではなく、『手書きで課題を作成すること』は『自分自身の学び』において効果があった」についてはアンケート調査をしていないため統計的には検証できないが、自由記述等から一定の効果があると考えられる。

これ以下は、学生たちの自由記述（原文のまま）の内容から、A3課題の有効性を具体的に検討する。

第1点目は、仮説1の「自分の将来の職業に役に立つ」という点についてである。A3課題が「A3用紙により課題に取り組み、まとめることは、自分の将来の仕事に役に立つと思いますか。」という設問において、98%の学生が「役に立つ」と回答したが、自由記述において、「A3用紙でまとめるということで大きくスペースもあり、様々なことを書くことが出来たので良かったです。そしてまとめ方を工夫したり、イラストを使ったりすることで私は楽しく課題に取り組むことが出来ました。授業の最後にA3課題をやることによって今までの授業の復習も出来たので良いと思います。またオンライン授業になったことでパソコンを使って課題をやることが多くなり、パソコンは予測変換で漢字が正しく表示されますが、紙に書く時には漢字を間違えないように気をつけて書かなければならないと気付くことが出来ました。小学校の教員は字の丁寧さも求められると思うので、課題から丁寧に綺麗に字を書くこと心がけなくてはならないと感じました。私が小学校の教員になった時には今回学んだことを活かして、子ども達にとって分かりやすい授業が出来るようにこれからも障害について深く学んでいきたいです。」(8)、「私は、A3課題のようにまとめるという方法は、とても良い学習方法だと思った。そのように思った理由は、2つある。(中略)2つ目は、将来の自分のためになると思ったからである。私は、将来教員を希望しているが、今回のような課題を行い、学んだことや理解したことを自分でまとめることの必要さや、グループ討論から得たことを自分の中で整理することの大切さに気づくことができた。そのため、将来教員になったとき、社会見学の後や道徳で学んだことなどについて、このようにまとめる機会を設けたいと思った。」(13)、「私は、今回初めてA3課題に取り組みました。両面で書く内容なので、とても多く、まとめるのにとても苦戦しました。自分の言葉でまとめるのは、人に何か説明する時や説明を聞いて理解する時多くの場面で必要になると思うので将来的にとっても役立つと思います。まとめるのは脳内の整理につながるのでもまとめる能力は大切だと思います。」(17)などがある。これらは、デシとフラスト(1999)が「内発的動機づけがもたらす『報酬』は、楽しさと達成の感覚であり、(中略)その仕事をこなす力があるという感覚は、内発的な満足の重要な側面である。うまくこなせるという感覚それ自体が人に満足感をもたらす。そして、生涯にわたる職業へとみちびく最初の力にもなりうる。」(p.87)と述べていることにつながっていると言える。つまり、このA3課題を用いた学習方法は、



学生に将来的にとっても役立つと感じさせたり、また将来の自分、つまり教員を希望している学生にとっては、教える上で、どのようなことをすることが大切かを意識させ、また具体的にどのようなことに応用できるのかを考えさせてくれたりする課題でもあったと考える。

第2点目は、「楽しく課題に取り組むことができました」という記述のように、「楽しく」「～できました」と学生が感じた点である。具体的には、「A3用紙でまとめるということで大きくスペースもあり、様々なことを書くことが出来たので良かったです。そしてまとめ方を工夫したり、イラストを使ったりすることで私は楽しく課題に取り組むことが出来ました。」(8)や「手書きならば自分のイメージ通りに表現する事ができるので、わかりやすくまとめる事ができました。また、大学生になってから、手書きで何かをまとめるという事をしていなかった為、とても新鮮な感じがして楽しみながら課題に取り組む事ができました。」(1)などといった記述である。デシとフラスト(1999)の「『できる』という感覚が、内発的動機づけと外発的動機づけの両方にとって重要である(中略)内発的動機づけがもたらす『報酬』は、楽しさと達成の感覚であり、それは、人が自由に活動をするとき自然に生じる。」(pp. 86-87)という記述につながるもので、ここで最も強調されるべきは、A3課題に取り組む中で「楽しく課題に取り組むことができた」とあるように、「楽しさ」と「達成感」を学生に感じさせていることであると考えられる。

第3点目は、A3課題に取り組むことの「大変さ」についてである。これは白紙のA3用紙の両面を使って、手書きで課題についてまとめることからくる大変さともいえる。しかしこの大変さこそ、かえって「できる」という感覚を生み出す可能性を持つということである。これについては、デシとフラスト(1999)が「有能感とは、自分自身の考えで活動できるとき、それが最適の挑戦となるときにもたらされる。ここでは最適の挑戦というのがキーワードになる。取るに足らないやさしいことができていても有能感を感じることはできない。達成に向けて努力するときのみ有能感を感じる事ができるのである。」(p. 89)と述べている通りである。学生の具体的記述としては「課題に取り組む前は、A3の両面に書くのは大変そうだと思っていましたが(中略)手書きだった点も良かったと思います。パソコンで文字を打つと、どうしてもイラストを描くことが出来なくて、自分のイメージ通りにうまく表現することができません。その点、手書きならば自分のイメージ通りに表現する事ができるので、わかりやすくまとめる事ができました。また、大学生になってから、手書きで何かをまとめるという事をしていなかった為、とても新鮮な感じがして楽しみながら課題に取り組む事ができました。」(1)や「A3にまとめることは、最初大変かな、思いましたが、思いがあふれて、かきたいことを自分で整理しながら書こうと意識できたのでたのしかったです。」(9)などといった記述に表れている。筆者も以前、A3課題について「人はひとつの空間(A3用紙という白紙の空間)が与えられ、自由に使ってよいといわれると、見事にその人らしさをその空間に表現してくれる」「教員はあくまで、学生の工

夫が活かせる枠組み（A3課題）を提供することであり、学生の工夫次第では、学生自身の中にある『潜在的資質』をもっとも自然な形で、しかも効果的に、引き出すことができ、さらに『潜在的資質』に磨きをかけることも可能であると考える」と述べた（服部，2014）。「手書き A3課題」では、A3用紙の両面にテーマについて、自分でまとめたり、その内容をどのように表現するかをいろいろと考えて書いたり、さらに、それを手書きで行うということであるが、これこそが A3課題の完成に向けて努力することであり、その結果、「わかりやすくまとめる事ができました」「かきたいことを自分で整理しながら書こうと意識できた」などという具合に有能感を感じることに繋がったと考えられる（服部，2019）。

第4点目は、第3点目でも言及しているが、A3課題が「手書き」で作成される点である。学生の記述に「手書きだった点も良かったと思います。パソコンで文字を打つと、どうしてもイラストを描くことが出来なくて、自分のイメージ通りにうまく表現することができません。その点、手書きならば自分のイメージ通りに表現する事ができる（中略）」(1)や「手書きでレポートをまとめるというのは、大学に入ってからあまりなく、短い文章を書くことはあっても、1つの紙にこれだけ多くの事を手書きでまとめることを久々にやったので、とても新鮮だなと思いました。パソコンを使ってまとめるのと比べると、実際に自分で書くことで書いている内容が頭に入ってきてやすいと感じました。何も書いていない1枚の紙に自由にまとめられるので、自分がわかりやすいようにできて、そこも良い点だなと思いました。マイナスなところをあげるとすれば、たくさん書いたあとに、直したいと思っても直すのが大変なところですよ。」(4)などといったものがある。手書きであれば、何をどのように表現するか、自分で自由に選択して対応でき、自分のイメージ通りに表現できたり、自分にわかりやすいようにできたりするというわけである。つまり、「手書きで課題をまとめることにより、自分の持ち味を活かす機会を持てる」ということでもある。デシとフラスト（1999）は、「内発的動機づけを高める要因とはどのようなものか」（p. 43）を考えるために実験を行っている。その結果、「ポイントは、意味のある選択が自発性を育むという点にある。人は、自ら選択することによって、自分自身の行為の根拠を十分に意味付けることができ、納得して活動に取り組むことが出来る。同時に、自由意志の感覚を感じることができ、疎外の感覚が減少する。しかも、もし選択の機会が提供されるならば、人々は自分たちが一人の人間として扱われていると感じる。このように、選択の機会を提供することによって、問題をうまく解決することができるのである。」（p. 45）と述べている通り、A3課題においては、指示された部分を除いて、用紙を自由に使用でき、自分の好きなように手書きできるため、どのような内容を、どのように表現するかは学生個人の自由であり、まさに「選択の機会が提供されている」ことになる。それが学生の自由記述に表れたものと解釈できる。また、デシとフラスト（1999）が述べる「選択の機会を提供することによって、問題をうまく解決できる」という主張は、先にあげた、国際教養大学の鈴木典比古学長のいう「課題解決

への応用性」という考え方にも通じるもので、A3課題の有効性を示すものとする。

以上のように、今回はオンライン授業という形態であったため、実践研究も小規模のものとなったが、特別支援教育Ⅰのまとめの課題の中で学生たちに尋ねることで、A3課題は遠隔授業においても有意義たりえたことが明らかになったと考える。特に今回仮定した2点について、1については、強く支持されたといえる。ただし、授業での課題における設問であったため学生は氏名を明記しなければならず、この点は考慮する必要があると考える。2については、統計的には検証していないものの、学生の自由記述から判断して、「自分自身の学び」においても効果があったことがうかがわれる。

今後は、専攻等の異なる学生においてもA3課題が有効であるかどうかを検討したい。

## 謝 辞

本研究をまとめるにあたり、査読の上、ご指導をいただきました本学教育学部准教授の野崎健太郎博士に対し、こころより感謝いたします。授業において本研究を進める上で協力をしていただいた学生の方々にもお礼を申し上げたいと思います。

### ■引用文献

- エドワード・L・デシとリチャード・フラスト（1999）人を伸ばす力―内発と自律のすすめ―、桜井茂男（監訳）、新曜社。
- 服部次郎（2014）A3用紙という空間を通じて、椋山女学園大学FD委員会活動報告書，14：47-48。
- 服部次郎（2019）保育者・教師養成課程で学ぶ学生の「将来に役立つ学びの促進」を目指した授業の試みについて(1)―「手書きA3課題」を授業に活用することの意義―、椋山女学園大学教育学部紀要，12：299-310。



資料：学生の自由記述（番号は資料番号）

- (1) 事例を手書き A3課題としてまとめる方法は、教材を深く理解する事ができる為、良いと感じました。課題に取り組む前は、A3の両面に書くのは大変そうだと思っていましたが……手書きだった点も良かったと思います。パソコンで文字を打つと、どうしてもイラストを描くことが出来なくて、自分のイメージ通りにうまく表現することができません。その点、手書きならば自分のイメージ通りに表現する事ができるので、わかりやすくまとめる事ができました。また、大学生になってから、手書きで何かをまとめるという事をしていなかった為、とても新鮮な感じがして楽しみながら課題に取り組む事ができました。
- (2) 最近は word 等のパソコン用ソフトで文字を打ってレポートを書くことが多かったため、久しぶりにたくさんの文字を書けて楽しかったです。また、「A3」用紙に触れる機会がないため、思っていたよりも大きくて驚きました。内容をまとめる点に関して、A3という大きいスペースはとてもわかりやすかったです。……また、普段パソコンで打ち込むと勝手に変換してくれますが、手書きだと全て自分で書かないといけないため、漢字にも気をつけないとなと思いました。字のきれいさも気をつけないといけないと気付くことができました。今後も手書きで書類を書く場面があるはずなので、今回の経験を活かしたいと思います。とても大変でしたが、良い経験ができて良かったです。
- (3) 自分で1からまとめていくことによって、話の内容、ポイント、自分の意見・考えなど改めて整理して考えることができてよい課題であると思った。人によって書く視点、ミルポイントなども違うと思うので人それぞれ個性も出ておもしろそうだなと思った。
- (4) グループ討論や A3課題は、オンデマンド授業に比べて時間がかかり、大変だと感じた。しかし、時間をかけることによって、他の授業より深く学ぶことができ、実際に学校で授業を受けているような感じであった。
- (5) 個人で考えたものをグループ、全体で共有し、最終的に A3課題でまとめる、という段階的な方法だったので理解や学びを深めることができたと思う。……また、それぞれのグループ討論報告書のまとめがあったのも、様々な発見や考えを知ることができ、とても良かった。A3課題では、今まで学んだことを振り返ることができて、自分の中でも授業のまとめができて良かったと感じた。
- (6) ドラマから分かる事実を簡単な図にして整理することで、どのような場面、言葉で登場人物の心境が変化したのかを知ることができた。……ドラマ鑑賞後の個人のまとめでは、自分の考えを適切な長さにまとめキーワードとともに整理していったことで、伝えたいことを簡潔にまとめる練習をすることができたと思う。
- (7) 手書き A3課題のメリットとして、自分の考えを書きながら整理できることがあると思いました。パソコンと比べ思うように図がかけられるのでやりやすかったです。
- (8) A3用紙でまとめるということで大きくスペースもあり、様々なことを書くことが出来たので良かったです。そしてまとめ方を工夫したり、イラストを使ったりすることで私は楽しく課題に取り組むことが出来ました。授業の最後に A3課題をやることによって今までの授業の復習も出来たので良いと思います。またオンライン授業になったことでパソコンを使って課題をやるが多くなり、パソコンは予測変換で漢字が正しく表示されますが、紙に書く時には漢字を間違えないように気をつけて書かなければならないと気付くことが出来ました。小学校の教員は字の丁寧さも求められると思うので、課題から丁寧に綺麗に字を書くこと心がけなくてはならないと感じました。私が小学校の教員になった時には今回学んだことを活かして、子ども達にとって分かりやすい授業が出来るようにこれからも障害について深く学んでいきたいです。
- (9) オンライン授業だったので、「手書き A3課題」自体は今までの学びや過程を文字にして、形にすることは、楽しくもあり、自分の知識や考え方が成長できたと思います……A3にまとめることは、最初大変かな、思いましたが、思いがあふれて、かきたいことを

自分で整理しながら書こうと意識できたのでたのしかったです。

- (10) 「光とともに」で学んだことやグループ討論のことを A3 の用紙にまとめることによって自分の考えや事実を整理することができました。今までとは少し違いますがこの課題のように DVD でやってきたことやグループ討論で学んだことを簡潔でわかりやすくするためにイラストや図を工夫することでよりわかりやすくすることは教師になる上でとても重要な力だと思います。授業の構成やパワポ等様々な場面で分散した情報をまとまりごとに整理したり、ポイントを押さえる等をこの課題で力を培うことができたと思いました。
- (11) 「手書き A3 課題」、最初は本当に何を書いたらいいかわからず、困っていたが、話の内容をきちんと理解することで、どのようにまとめるかというのが少しずつ思いつくようになった。なので、きちんと理解していないとできない課題になっているので、いいと思った。……パソコンでひたすら文字を打ったり、ネットでイラストを検索するのもいいと思うが、自分の味が出せる手書きもいいと思った。
- (12) この A3 課題は、とても学びのある課題だったと感じた。まず、課題を完成させるための毎回のグループ討論では、毎回まとめを考えることで、各話の整理をすることができた。また、他の人の意見を聞くことで、自分自身の勉強にもなった。次に、表面～裏左上に、1 つの話をもとめる課題では、第 3 話について、深く考えるよい機会になった。改めて 3 話を見返し、1 つ 1 つこまかい言動や表情、内面の変化を読み取ることができた。
- (13) 私は、A3 課題のようにまとめるという方法は、とても良い学習方法だと思った。そのように思った理由は、2 つある。1 つ目は、深い学びにつながったからである。私は、このビデオを通して、自閉症や自閉症の子どもを持つ親、周りの人々について学ぶことができたと思っていたが、最後にもう一度振り返り、考えてみたり、まとめたりすることによって学んだことを定着させることができ、とても良い機会だと思った。2 つ目は、将来の自分のためになると思ったからである。私は、将来教員を希望しているが、今回のような課題を行い、学んだことや理解したことを自分でまとめることの必要さや、グループ討論から得たことを自分の中で整理することの大切さに気づくことができた。そのため、将来教員になったとき、社会見学の後や道徳で学んだことなどについて、このようにまとめる機会を設けたいと思った。
- (14) 手書きでレポートをまとめるというのは、大学に入ってからあまりなく、短い文章を書くことはあっても、1 つの紙にこれだけ多くの事を手書きでまとめることを久びさにやったので、とても新鮮だなと思いました。パソコンを使ってまとめるのと比べると、実際に自分で書くことで書いている内容が頭に入ってきたと感じました。何も書いていない 1 枚の紙に自由にまとめられるので、自分がわかりやすいようにできて、そこも良い点だなと思いました。マイナスなところをあげるとすれば、たくさん書いたあとに、直したいと思っても直すのが大変なところでした。
- (15) 手書きでまとめることで、パソコンでまとめるよりも書く内容を熟考できると感じました。また、パソコンでの作業が当たり前になってきたなかでの手書き課題はとても新鮮でした。毎回の授業で、ただ映像を見て感想を述べるだけでなく、要点をまとめたことで、グループ討論報告書を見て、すぐに内容を思い出すこともできたとし、何より 1 話 1 話の内容がとても印象に残っています。(中略) グループ討論も含めて、とても有意義な学びができたのではないかとと思っています。
- (16) 1 枚の紙に事実をひとつひとつ整理しながら、内容の分析・考察を書くのでまとめやすかったです。初めは遠隔授業の中でまとめて、グループ内で討論するのに不慣れでしたが、キーワードを整理しながら、いろいろな考え方で学ぶことができました。手書き A3 課題は他の授業ではないやり方だったので不安でしたが、自分の頭の中で考え、パソコンで作成する時よりも見やすさや伝わりやすさを重視しながら取り組みました。自分の手で書いてまとめることの大切さに気付くことができて良かったです。
- (17) 私は、今回初めて A3 課題に取り組みました。両面で書く内容なので、とても多く、ま

とめるのにとっても苦戦しました。自分の言葉でまとめるのは、人に何か説明する時や説明を聞いて理解する時多くの場面で必要になると思うので将来的にとっても役立つと思います。まとめるのは脳内の整理につながるのでまとめる能力は大切だと思います。

- (18) 今までしっかりと討論をし、word にまとめていたため、各内容は事前にまとめられていたと思う。そのため、文章はスムーズに書くことができた。しかし、A3という大きめの紙に、デザインを考えて、今回の内容に合うようなイラストを取り入れながらまとめていくことに慣れていなかったため、大変でした。しかし、このように、視覚化し、まとめることは、障害をもつ子どもとコミュニケーションを取るときに1つの手段となる。また、教師をする上で、この技術は必要である。そのため、今回経験できて良かった。今後は、イラスト入りのレポトリを増やせるように努力したい。
- (19) 最初にこの課題があるとわかったときは、A3って大きいしめんどうと思ったけれど、実際やりはじめてみるとあっという間で楽しくできました。レポートして文だけでまとめるよりも図を用いた方がまとめている自分もわかりやすく記憶に残りやすいと思いました。
- (20) 事例を手書き A3用紙にまとめることにより、各回の光君や母親、周りの人々の心情やキーワードを登場人物の発言や表情・態度・場面などといった様々な視点から考え捉えることができた。……今私がこのように障害について勉強できているのは、学ぶきっかけを与えてくれた特別支援教育 I の講義のおかげである。服部先生から直接指導を受けたかったという思いは山々だが、遠隔授業で間接的ながらも指導していただいたり、動画視聴で自分の意見を持ちグループ討論をしたり、A3用紙に手書きでまとめたりするなど充実した講義だった。